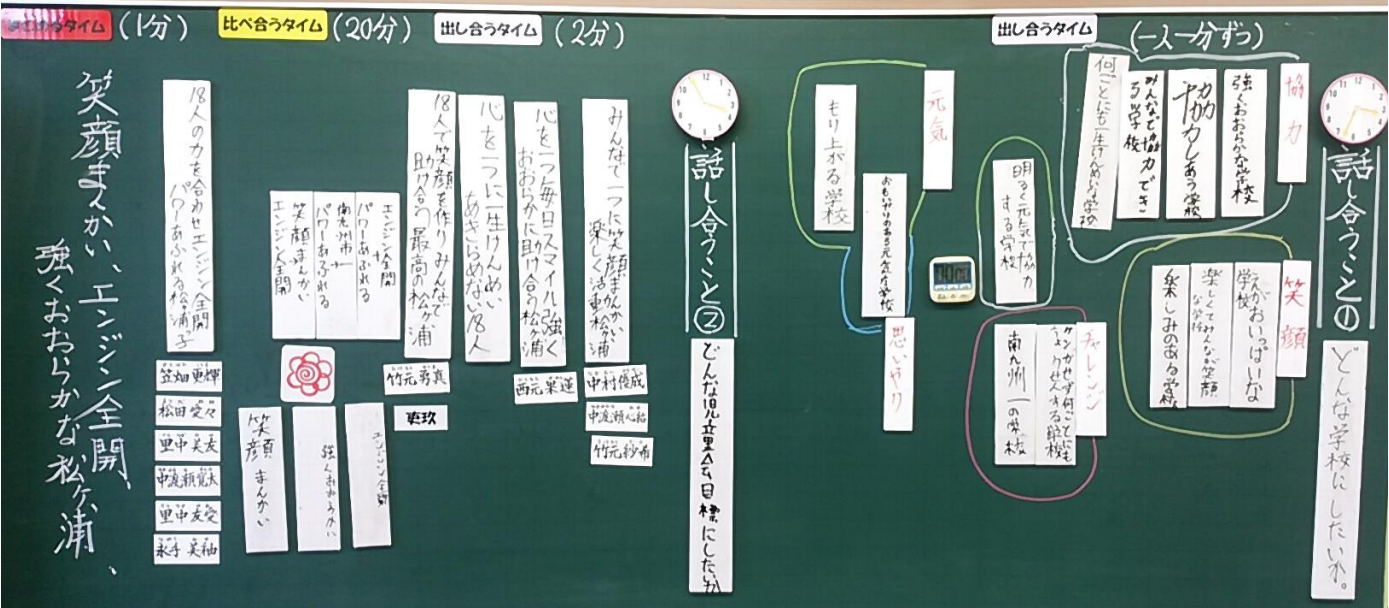


～議題：自分たちの力で最高の松ヶ浦小学校にしていくための児童会目標を決めよう！～

【ねらい】

学級や学年の枠を越え、学校生活をより豊かにしていきたいという願いや思いを共有することで集団生活に積極的に参画しようとする態度を養うことができるようにする。



【写真①：板書】

【学級会ノート】

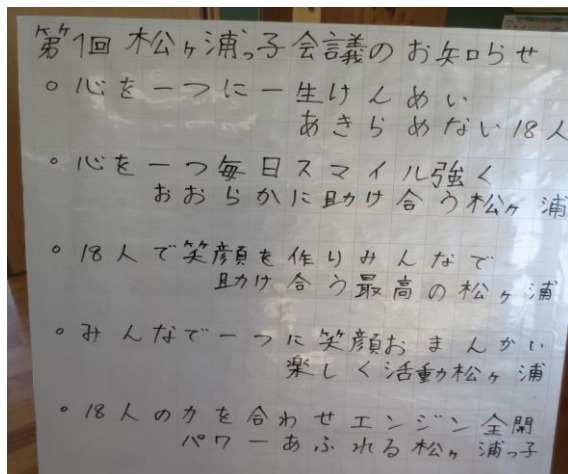
4月20日(金) 6時間目

議題	自分たちの力で最高の松ヶ浦小学校にしていくための児童会目標を決めよう！			
提案理由	昨年からみなさんは、とても成長してきましたね。それぞれの学年で、体力づくりにがんばり、低学年のお世話をしてくれたり、お兄ちゃん・お姉さんのためにイベントを開いたりすごかったです。そこで、今年も18人全員で力を合わせ、思いやりの心を大切にして、自分たちの力で進んでもっともっとこの松ヶ浦小学校をすばらしい学校にしてもらいたいと考えています。そのためには、昨年よりもレベルアップした児童会目標を考える必要があると思います。最高の一年間になるように、しっかりと話し合って決めてください。			
校長先生				
めあて	自分の意見を進んで発表しよう！			
《キーワード》	○ レベルアップ ○ 自分たちで ○ 思いやりがある			
決まっていること	○ 25文字以内の児童会目標にする。(分かりやすく) ○ 1年間かけて達成できるような目標にする。			
司会グループ	司会	副司会	黒板	黒板
話し合うこと	自分の考え(理由もしつかりと書く)			
話し合うこと① どんな学校に したいか *一つ書きましょう	【自分の考え】「○○○な学校」と書きましょう。例: 明るい学校 【理由】			
話し合うこと② どんな児童会 目標にするか	【自分の考え】			

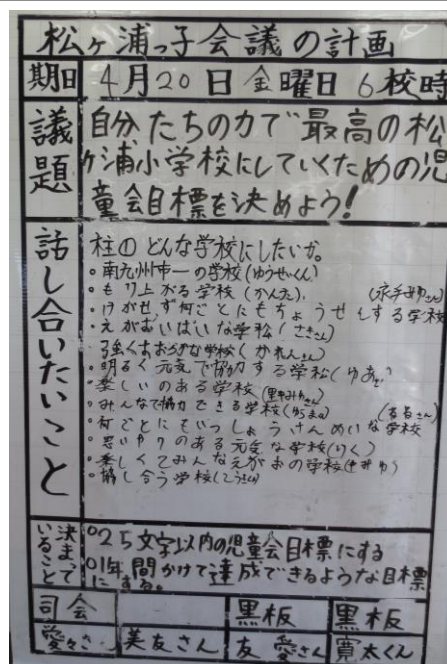
指導のワンポイント

☆ 事前に子どもの目的意識を高めるための工夫

- ・校内放送での意見の周知
- ・掲示板や計画黒板の利用（写真②・③）



【写真②：掲示板（計画委員会で五つの意見に集約）】



【写真③：計画黒板】

☆ より自分ごととして考えることができるための学習過程の工夫

- 話し合うこと①「どんな学校にしたいか」（12分）【一人1分ずつ】

- ・「出し合う」タイム

全員が自分の意見とその理由を発表させた。その際、黒板係に仲間分けさせた。

- 話し合うこと②「どんな児童会目標にするか」（25分）

- ・「出し合う」タイム（2分）

- ① 自分がよいと思う意見に名前カードをはらせた。

- ・「比べ合う」タイム（20分）

- ① 賛成意見を発表させた。

- ② 賛成意見を聞いて考えが変わった子どもは名前カードを変えるように促した。

- ③ 一番多かった意見を基に、付け加えたい言葉はないか出し合わせた。

＊ ひまわり型（一つの考えを中心として他の考えのよさをくっつける方法）

- ④ 出された言葉を基に、児童会目標を考えた。

- ・「まとめる」タイム（1分）

- ① 決まったことを発表させた。



アドバイス

- 一単位時間で児童会目標を完成させるための手立て

- ① 事前に児童会目標を集約する。

＊キーワードや決まり事などを基に、選定していく。

- ② 「まとめる」タイムでは、児童会目標に入りたい言葉だけを決める。

・言葉と言葉をつないで文章にしようとしたが、子どもだけではうまくいかなかった。そこで、入りたい言葉のみを決め、児童会目標は計画委員会でまとめることにした。

＊「まとめる」タイムで、実態等によっては、教師が児童会目標のアイデアを提案しながら決めていく方法も考えられる。